

第一回京都府設計津波水位検討委員会の開催結果概要について

- 1 開催日時 平成28年10月13日(木) 午前9時30分～午前11時00分
- 2 場 所 京都府福利厚生センター 3階第2・第3会議室
- 3 出席委員 井合委員、澤田委員、鈴木委員、間瀬委員
- 4 オブザーバ 舞鶴市、宮津市、京丹後市、伊根町、与謝野町
- 5 結果概要

(1) 委員会の設置等について

- ・京都府の沿岸における海岸保全施設等の設計に用いる津波の水位の設定案を策定することを目的に、本委員会で検討を進める。
- ・井合委員を委員長として選出。
- ・間瀬委員を委員長代理として指名。

(2) L1 津波の検討について

①津波防災に関する検討状況

- ・平成27年度末に、京都府府民生活部防災消防企画課が公表したL2津波の津波浸水想定の内容が報告され、津波防災に関する京都府の検討状況について了解。

②京都府の海岸保全施設の現況

- ・海岸保全施設の現況について報告。

③L1 津波水位の検討方針

- ・L1津波は、数十年から百数十年に一度発生する比較的発生頻度の高い津波としているが、日本海側の津波では日本海中部地震、北海道南西沖地震を基本として検討を進め、その他の地震(国の定める60断層により発生する可能性のある地震)についても必要に応じて検討する。

④L1 津波高の妥当性の検証方法

- ・歴史地震による痕跡を整理し、L1津波群として整理するが、歴史地震による痕跡データが少ない場合は、必要に応じてシミュレーションでの補完を検討する。
- ・L1津波の水位高の決定においては、L2津波の水位高との比較も行った上で決定する。
- ・日本海中部地震と北海道南西沖地震の津波高さの再現には、痕跡・検潮記録とシミュレーション結果との比較を行い、必要に応じて断層モデルチューニング(断層のすべり量調整等による再現精度の向上)の実施を検討する。

⑤シミュレーション基本条件の設定

- ・防護ラインの設定については、津波からの防護が必要であると考えられる場所に設定することを検討する。
- ・潮位条件には、各地区の朔望平均満潮位を設定するのではなく、昨年度のL2津波検討時と同様に、府全体としての朔望平均満潮位を設定する。

以上